



夢の本棚

発行所：松居直コレクションプロジェクト
 代表：金戸 美紀予
 事務局：石川県小松市 小馬出町10-3
 空とこども絵本館
 ☎ 0761-23-0033
 bookrin@city.komatsu.lg.jp



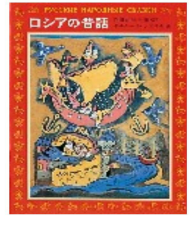
【活動方針】①絵本の楽しさを伝える〈親子読書の奨励〉 ②絵本の歴史を学び、進むべき方向を考える〈絵本文化の研究〉
 ③市が所有する知的財産として、次世代に正しく伝える〈絵本文化の継承〉

世界に絵本を求めて⑦

多文化主義が活かされている日本一の絵本館に

ロシアの優れた画家

◆ロシアで昔話を描くのが非常に上手な方が、タチヤーナ・マブリナという人なんです。ロシアの民衆画からの影響も、豊かに受けてらっしゃる方です。私がモスクワに行った時お願いをして、単行本の『ロシアの昔話』とい



内田莉紗子編・訳
 タチヤーナ・A・マブリナ画
 1969年/福音館書店刊

う本の挿絵を全部描きおろしてくださいました◆それをロシアのブックフェアで展示しましたら、ロシアの出版社の編集者が、ものすごくうらやましそうな顔をして「この本、翻訳して出します」と言ったほど、ほんとに素敵な挿絵でした。マブリナさんは、**国際ア**

ンデルセン賞の画家賞をお貰いになったロシアで唯一人の画家です。

中国のこともっと知る

◆日本人は、中国のこと、中国の文化をほとんど知らない。私が中学生の頃は、漢文が必須でしたから漢文の時間に習っていました。また、父が割合絵が好きで、床の間に掛け軸を季節ごとに取り替えていました。それを見ていたら面白いから、私は小学生の頃、絵を掛け替えていました◆お正月は正月の掛け軸ですけども、冬は梅の花がいっぱい咲いた梅林山を掛ける。その後、

桃の花が満開の山水画（南宋画）を掛けるんです。私はそれがほんとに好きだったんです。下に小さな川が流れていて、舟があって人間が一人乗っているんで



すね◆中学3年生の時だったかな。漢文の教科書に「桃花源記」という陶淵明の有名な文章が出ていました◆1996年、編集者の方に長沙で講演を頼まれて行くと、北京であった国際図書展で**湖南少年儿童出版社**の名編集長だった蔡皋さんて絵描きさんにお会いしました◆私が「『桃花源記』が大好きだ」と言ったら、「すぐ傍にありますよ。案内しますから一緒に行きましょう」と、2泊3日ぐらいでずーっと回りました。車なんかありませんから担いでもらったり、馬に乗ったりして回るんです。



松居直 文/蔡皋 絵
 2002年/福音館書店刊

その時に蔡皋さんと「『桃花源記』を絵本にしよう」ということ

多文化主義を目標に

で気持ちが合ったもんですから、日本を出すために、物語を私が日本語で書きおろしました◆日本では、こういう物語ってのはそう簡単に生まれませんけども、日本人は、中国の文化だとか歴史だとか、中国の特色ってものをあまりに知らない◆満州事変が起こったのが私が5歳の頃ですから、日本は中国にいろんな圧力をかけてきました。そのことをしっかり知った上で考えていかないと、ただ「仲良くしましょう」じゃだめです。相手が自分を知っている、知ってくれている、ということ。信頼感が一番基本ですから◆そういう意味で、これからはもっともっと中国に関する本を子どもたちのために作って行かないと読んでもやっとなきやいけないというふうに思っています。

◆これからの日本はいろんな民族の文化と出会うことが多くなりやすから、今から日本の「多文化主義」っていうものをしっかりと考えて行かなければだめだと思います◆多文化主義を見事にやっているのはカナダです。カナダにいるそれぞれの民族の子どもたちのために、カナダでは絵本がちゃんと作られています。日本の人たちが戦争中にどれほど迫害を受けたかっていう子供向けの本も、私は見ました。そういったことが、日本では疎かにされているんですね◆これから絵本館も、「多文化主義」ってのを象徴的な目標にして「日本が一番、多文化主義が見事に子ども本の世界で活かされている絵本館になつてくださるといいなあ」と思います。そうすれば「日本の図書館も、調べるんだったら小松へ行け」ってことになりやすから。（おわり）